

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.673

2025年4月17日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

経営協議会を開催

2025年度安全対策について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

4月17日、経営協議会を開催し、「2025年度安全対策の推進」について会社から説明を受け、労使共通の最重要課題である「安全の確立」に向けた議論を展開した。

2024（令和6）年度を振り返ると、鉄道運転事故では、重大インシデントの発生はなかったものの、大規模な輸送障害のほか、異常運転報告事象や重大な不安全事象が引き続き複数発生した。労働災害では、関係会社作業員の触車死亡災害が発生したほか、複数の待避不良や感電、墜落といった四大災害が相次いで発生している。これら労働災害の根絶に向けては、労使一体となった取り組みを推進していく必要がある。

この間、風通しの良い職場の実現を目指し、適切な権威勾配によるアサーションを通じて心理的安全性を高める取り組みを行い、より安全な職場環境となるよう主張してきた。

議論では、会社より、いかなる時にも安全最優先の行動が実践できるようにするためには、これまでユニオンが繰り返し主張している「心理的安全性の高い職場づくり」が重要であるとの考えが示された。また、熱中症対策に関する議論では、新幹線駅及び名古屋駅在来線ホームで列車監視業務に従事する駅輸送担当者のうち希望者には、ファン付きベスト(空調服)を貸与予定であることが明らかになった。

JR東海ユニオンは、「UNION FUTURE ⇒2027」に掲げる運動の柱「安全の確立」に向け、引き続きJR東海グループで働く全ての仲間の「死亡事故・重大労災ゼロ」実現のために不断に取り組んでいく。

◆2024（令和6）年度 鉄道運転事故等及び労働災害の発生状況

○鉄道運転事故：32件（±0件）

✓JR東海起因の運転事故 2件

中央線神領駅構内における起動後の列車からの飛び降り、東海道線高塚駅構内における触車死亡災害

○輸送障害・運転障害：6,150件（+548件）

○インシデント：0件（±0件）

○異常運転：2件（±0件）

✓東海道線 穂積駅～大垣駅間における制限速度違反

✓中央線 上松駅～大桑駅間における運転操縦中の使用携帯電話使用

○労働災害：社員29件（+1件）、関係会社31件（+1件）※熱中症除く

✓四大災害 触車・待避不良4件、感電1件、墜落3件

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。